



避難所運営研修に参加しました



日時 令和4年7月26日(火)15:00～
8月 3日(水)15:00～
場所 みどり小学校(7/26)、陵陽中学校(8/3)
参加者 みどり小学校：美園第2・3・6・8町内会の方々
陵陽中学校：美園第7・9町内会の方々

令和4年7月26日(火)及び8月3日(水)、みどり小学校・陵陽中学校を会場に行われた「避難所運営研修」に、通学区域内の各町内会の方々が参加されました。

この研修は、札幌市が地域防災力の向上を目的に、基幹避難所である市立小中学校を会場に区職員や学校職員、地域住民の3者を対象として、災害時の避難所開設の的確な初動対応と基本的行動の確認を行い、受講者の防災意識と災害対応能力向上を図ることを目的に、平成27年度より毎年（各区3～5回）行っているものです。

研修では、「感染症対策を取り入れた避難所開設初動対応の確認、実施」などの講義のあと、校内にある備蓄物資や受水槽などの確認や、防災行政無線や災害時用公衆電話を試験運用にて体験するなど、参加された方々は真剣な眼差しで研修を受けられていました。皆さま本当にお疲れさまでした。

みどり小での研修の様子





避難所運営ゲーム(HUG)を実施中の様子。図面やカードを使って、避難所で起こるさまざまな出来事にどう対応するか意見交換をする模擬体験です。

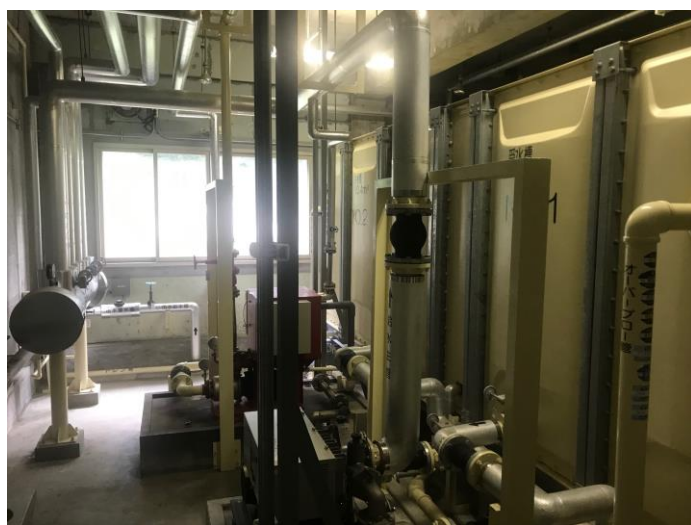
陵陽中学校での研修の様子



備蓄物資の確認



受水槽の確認



キーボックスの確認



避難所入口の暗証番号キーボックスに関する概要説明もありました。

